

# 福井県立高志高等学校 SGHカリキュラム開発について

福井県立高志高等学校  
福井県立高志中学校

平成30年6月29日(金)

# ふくい発、東アジアの発展と希望に貢献するグローバル・リーダーの育成

～校訓「克己・創造・敬愛」に基づき、日本および世界の平和と繁栄、国際協調に貢献する「知・徳・体の調和のとれた国際社会および地域社会のリーダー」を育成～

## 課題研究の取組

成長を続ける東アジアの活力を取り込むとともに、東アジアに貢献し、東アジアと共に成長の道を歩み、希望ある社会を構築していくことを学問の基本構想として、国際化を進める大学・グローバル企業・NPO等と連携して実施。

### 総合的な学習の時間 グローバル探究

学校設定科目

言語運用面  
支援科目

- ・グローバルリテラシー
- ・グローバル英語  
I・II・III

内容面  
支援科目

- ・アジアの経済
- ・アジアの言語・文化

- ◇1年:外部講師連携授業
- ◇2年:グループ研究
- ◇3年:個人研究・論文作成

海外フィールドワーク  
海外インターンシップ

- シンガポール
- マレーシア
- タイ
- ベトナム
- オーストラリア

〈連携先〉

- 東京大学 社会科学研究所
- 京都大学大学院  
アジア・アフリカ地域研究研究科
- 福井県立大学 地域経済研究所
- 福井大学 全学・全センター
- 福井経済同友会
- 県内各種企業 ほか

## グローバル・リーダー育成のための 環境整備、教育課程外の取組

海外留学の推進  
海外大学への進学支援

- PBLベースの授業改善
- 2学期制、単位制の導入
- 入学者選抜の改善  
(帰国子女・外国人生徒受入)
- 選択型海外研修の実施
- 海外姉妹校交流

イノベーション人材の育成

- ビジネスアイデアコンテスト等へ挑戦
- 高校生模擬国連等への参加
- GSS(グローバルソーシャルスタディ)部を新設
- SGHリーダーズキャンプ
- 課題研究ワークショップ

〈連携先〉 福井大学

語学センター・国際交流センター

ほか

グローバルな視野で  
新しい分野にチャレンジし  
社会にイノベーションを起こす人材

## 英語力向上への環境整備

- グローバルライブラリー
- テレビ会議システム
- 海外姉妹校交流

ふるさと福井、日本語・日本文化に誇りを持ち、文化や産業等について英語で適切に説明する能力を育成

【成果指標】 ※平成30年度 想定

- ・国際化に重点を置く大学への進学率 80%
- ・CEFR (B1～B2レベル) 80%
- ・国際的に活躍したいと考える生徒 80%
- ・海外大学への進学 4名



## 【研究開発名】

ふくい発、東アジアの発展と希望に貢献する  
グローバル・リーダーの育成

## 【育成したいグローバル・リーダー像】

ふるさと福井、日本語・日本文化に誇りを持ち、  
グローバルな視野を持って  
新しい分野にチャレンジし、  
社会にイノベーションを起こす人



## 【主な取組】

- 課題研究の推進と教育課程の研究開発
- 英語コミュニケーション能力の向上
- グローバルマインドの向上

# 【SGH教育課程における学校設定科目等】

科目名	単位数			目標・内容等	備考(SSH 対応科目)
	1年	2年	3年		
グローバル探究	2	1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年次:連携授業、7時間1単元で課題研究の基本的なプロセスを学習</li> <li>○2・3年次:グループ別課題研究</li> </ul>	サイエンス探究
グローバルリテラシー	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の文化・産業等を説明する国語力育成</li> <li>○情報の収集、分析、整理等のスキル養成</li> </ul>	サイエンスリテラシー国語
グローバル英語Ⅰ	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の文化・産業等を説明する英語力育成</li> <li>○概要・要点把握、情報伝達の英語力育成</li> </ul>	サイエンスリテラシー英語Ⅰ
グローバル英語Ⅱ		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報・意見等を述べる英語力の育成</li> <li>○社会科学的な内容の英文理解、概要把握等</li> </ul>	サイエンスリテラシー英語Ⅱ
グローバル英語Ⅲ			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まとまりのある英語で表現する力の育成</li> <li>○社会問題、時事的なテーマの英文理解、情報整理等</li> </ul>	サイエンスリテラシー英語Ⅲ
アジアの歴史・経済		1		○東アジアの歴史、経済、社会等について学習	※いずれか1科目を選択履修
アジアの自然・文化		1		○東アジアの自然環境、生活文化、工芸・技術等について学習	

# 課題研究について



# 【教員の配置について】

科目名	1年			2年			3年		
	講座数	教員数	教科	講座数	教員数	教科	講座数	教員数	教科
グローバル探究	2講座	4名	地歴1名 保健体育1名 英語1名 家庭1名	20 グループ	7名	地歴3名 理科1名 保健体育1名 英語1名 家庭1名	3講座	3名	英語3名
グローバルリテラシー	3講座	3名	国語3名						
グローバル英語	3講座	3名	英語3名	3講座	3名	英語3名	3講座	3名	英語3名
アジアの歴史・経済				1講座	2名	地歴2名			
アジアの自然・文化				1講座	4名	国語1名 地歴1名 理科1名 家庭1名			

# 【4年間の課題研究の取り組みについて】

## 【1年生】

原則7時間を1単元とする授業を3回行う。  
2年次の課題研究に向けての基礎作り。

時間	内 容	ラウンド1		ラウンド2		ラウンド3	
		A講座	B講座	A講座	B講座	A講座	B講座
1	事前課題の指示	9月21日(水)		11月18日(金)		1月11日(水)	
2	事前リサーチ	9月23日(金)		11月25日(金)		1月13日(金)	
3	外部講師による連携授業	10月7日(金)		12月2日(金)		1月18日(水)	
4	外部講師による連携授業			12月7日(水)		1月20日(金)	
5	ディスカッション等	10月19日(水)		12月9日(金)		1月27日(金)	
6	ディスカッション等	10月21日(金)		12月14日(水)		2月1日(水)	
7	発表	10月26日(水)		12月16日(金)		2月3日(金)	

※表は平成28年度のもの





# 【4年間の課題研究の取り組みについて】

## 【外部講師連携授業の例】

講師(敬称略)	所属	テーマ・内容
玄田 有史	東京大学 社会科学研究所	グローバル時代のリーダーになる
末吉 里花	一般社団法人 エシカル協会	私たちの選択が未来を変える ～エシカル消費のすすめ～
鈴木 啓悟	福井大学 学術研究院	ミニチュアブリッジコンペティション
菊地 吉信	福井大学 学術研究院	福井の民家を海外の人に紹介しよう
小林 秀夫	第一ビニール 株式会社	企業はなぜ海外に行くのか？ 海外に行くとうどうなるのか？
前田 征利	前田工織 株式会社	日本の進むべき道について考える

# 【4年間の課題研究の取り組みについて】

## 【2年生】 通年型課題研究への取り組み

2年目

### 研究テーマ一例

経済・社会	飲食店(蕎麦)が東南アジア進出を成功させるには
生活・文化	タイのトランスジェンダーについて ～権利を確立するために～
生活・文化	”歯みがき”革命 in Vietnam
工学・技術	水を安全に提供するために

テーマを限定せず、自由に課題研究



テーマが広範囲で漠然としており、研究が深まらず

指導する教員も幅広いテーマに対応できず

# 【4年間の課題研究の取り組みについて】

3・4年目

メインテーマの絞り込み

・ビジネス    ・教育, 幸福度, グローバル化



研究の深まり  
指導体制の充実

課題は企業から  
グループ間連携はなく  
バラバラに活動

# 【4年間の課題研究の取り組みについて】

## 研究テーマ例

チーム	研究テーマ
ビジネス	タイ人のためのおもてなし改革 inあわら
ビジネス	ビジネスウーマン in Vietnam ベトナムの女性活躍の理由 ～日本企業に対する提案を考える～
エデュケーション	ワールド・スイーツ・フェアで福井をグローバル化 ～福井をグローバル化させるには～
エデュケーション	グローバル社会に生きる高校生の幸福度指標



4年間の活動を踏まえた  
今年度の課題研究について



# 2018年度SGH課題研究のイメージ

## 「KoA-S」

### 【課題研究基礎】

- ・提示されたキーワードからテーマ設定

### 【外部講師による授業】

- ・福井の文化・産業等を学ぶ
- ・日本や世界の現状を学ぶ

### 【京大大学院訪問】

- ・大学院での学びに触れる

### 【発表】

- ・リサーチした内容を発表

## 「グローバル探究」

### 【コアテーマ型課題研究】

- ・福井の活性化について研究

### 【フィールドワーク(海外・国内)】

- ・英語プレゼンテーション
- ・インタビュー・アンケートで
- ・海外ホームステイ
- ・国内SGH校との交流
- ・大学・企業・研究機関等研修

### 【発表】

- ・英語で校内発表
- ・大学・企業等向けプラン提案

## 「グローバル探究」

### 【個人テーマ型課題研究】

- ・自分で設定したテーマについて研究

### 【文献講読】

- ・日本語・英語の専門的な文献を講読

### 【フィールドワーク】

- ・大学・企業等への訪問

### 【発表】

- ・英語レポート発表
- ・大学・企業等向けプラン提案

1年

課題選択 ⇒ リサーチ  
⇒ 知識・情報のまとめ

2年

課題設定 ⇒ 情報収集  
⇒ 分析 ⇒ 考察 ⇒ 発表

3年

課題発見 ⇒ 文献・資料  
⇒ プランづくり ⇒ 発表

### 「英語活用BE/RP/DD」

- ◆ 事実情報や意見・考えなどを考察する能力
- ◆ 適切な表現方法を工夫しながら伝える能力

### 「グローバル英語Ⅱ」

- ◆ 分析・判断・評価する能力
- ◆ 考えを論理的に表現・効果的に発表する能力
- ◆ 海外研修・研究発表に向けた支援

### 「グローバル英語Ⅲ」

- ◆ 現代社会が抱える問題を考察、解決法を探り、表現する能力
- ◆ 研究発表に向けた支援



## 2018年度 SGH課題研究の実施計画

	1年次	2年次	3年次
クラス	講座単位	グループ単位	個人単位
課題研究の形態	グループ	グループ	個人
扱う内容	<b>外部講師による授業</b> に基づく内容	課題研究 <b>コアテーマ</b> に基づく内容	<b>各生徒が設定</b> した研究テーマに基づく内容
実施時期	9月～3月	4月～3月	4月～
指導者	本校教員 外部講師(大学・企業等)	本校教員 外部指導者(大学・企業等) <b>協働研究者(大学生)</b>	本校教員 外部指導者(大学・企業等)
研究方法	文献等研究 大学・企業による指導	<b>フィールドワーク(海外・国内)</b> 文献等研究 大学・企業による指導	フィールドワーク 文献等研究 大学・企業による指導
発表のスタイル	リサーチ報告型	<b>プラン提案型</b>	<b>プラン提案型</b>
発表の機会	<b>1月:校内発表会</b> <b>3月:代表者発表会</b>	<b>1月:校内発表会</b> <b>3月:代表者発表会</b>	<b>7月:校内発表会</b> <b>9月:レポート作成</b>

## 2018年度1年生課題研究の実施計画

9・10月

- 外部講師による授業 (Round 1～3)

11月

- テーマ設定 → 課題研究開始

12・1月

- グループ別課題研究

1月

- 校内発表会 (ポスター発表)

2月

- 課題研究のまとめ

3月

- 代表者発表会 (外部指導者等対象)

## 2018年度2年生課題研究の実施計画

4・5月

- オリエンテーション   ブレインストーミング

5・6月

- 仮説の設定

7月

- 仮説発表会および仮説の修正

7～10月

- FWに向けての準備(アンケート等)

11～2月

- FW調査のまとめ   結論に向けて

2月

- 校内課題研究発表会

3月

- 代表者発表会(外部指導者対象)

# 2018年度2年生課題研究の実施計画



2月：校内発表会

3月：代表者発表会

# 〈2年生課題研究の学年テーマ〉 世界に発信！高志高生が創るふくいの未来

## 各グループのテーマ

## 具体的なプラン(例)

### 観光・インバウンド

- 外国人観光者の誘客方法を考える。
- 男女の出会いを促して県外からの移住者を増やす。

### 伝統・文化

- 福井の伝統や文化を県内外の人々にPRする。
- かるたで福井を盛り上げる。

### 自然

- 人々を魅了する星空ツアーを企画する。
- 水晶ヶ浜に水上コテージをつくって、世界中から人々を集める。

### 交通

- 電車の中で福井を楽しんでもらう方法を考える。
- 電車の沿線をデコレーション、ライトアップする。

### 施設・建造物

- 新しい施設を併設した図書館をつくる。
- 古民家・空き家を利用したカフェ、ホテルをデザインする。

### イベント開催

- 東尋坊でコスプレ写真大会をやろう！
- 永平寺でお化け屋敷!?

### 教育・福祉

- 外国人観光客を案内できるツアーガイドを養成する。
- 高齢者が健康で幸せに暮らせる町づくりを提案する。

### 産業

- 福井の産業を県外・海外にPRする。
- 企業の海外進出について考える。

# 2年生選択型研修旅行（10月下旬実施）

## 平成29年度の主な実施内容

### タイ

- カセサート大学附属学校  
（ホームステイ、授業参加、英語プレゼン、インタビュー等）
- マヒドン大学（授業参加、学生との懇談）
- 企業研修（福井銀行バンコク駐在委員事務所等）

### ベトナム

- ドンズー日本語学校（プレゼン、ディスカッション）
- マリ・キュリー高校  
（授業参加、英語プレゼン、インタビュー、校外研修等）
- ホーチミン市師範大学（授業参加、英語プレゼン）
- 企業研修（県内企業現地事業所、日本人経営レストラン）

### オーストラリア

- Bendigo Kangan Institute (TAFE)（授業参加、校外研修）
- ホームステイ（4泊）
- 本校卒業の大学生との懇談

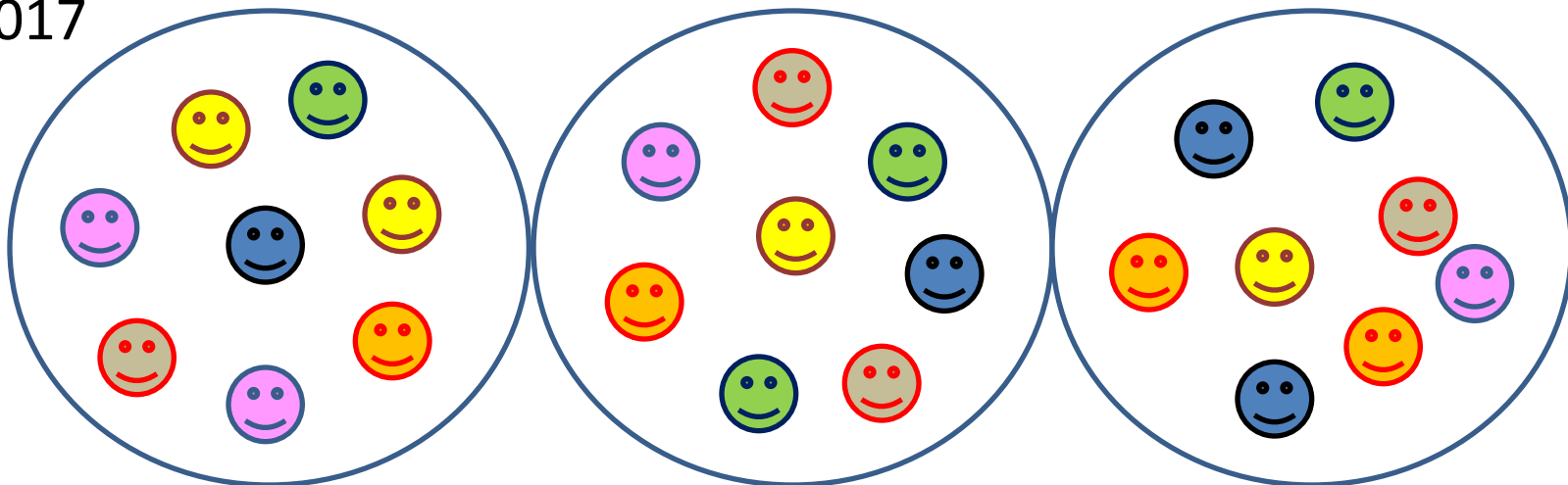
### 関東方面

- 立教大学（リーダーシップ研修、学生との懇談）
- 筑波大学附属坂戸高等学校（発表会参加、生徒交流）
- グループ別大使館研修
- グループ別企業研修

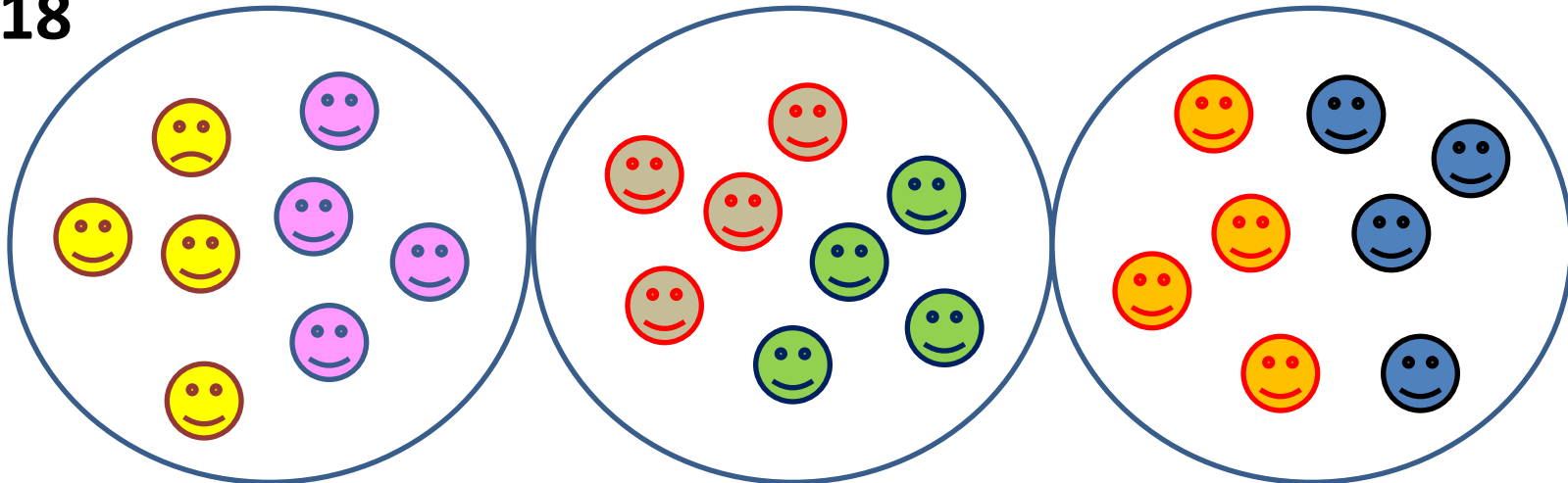


# 2018年度2年生 課題研究グループと英語講座

~2017



2018



## 2018年度3年生課題研究の実施計画



## 2017年度「グローバル英語Ⅱ」で用いた問いのタイプ分け

種類	観点	具体例
タイプA (事実発問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実を尋ねる。</li> <li>・経験や情報について尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AさんはBさんに何と言いましたか。</li> <li>・Cさんは何を買いましたか。</li> <li>・あなたは〇〇へ行ったことがありますか。</li> <li>・〇〇について知っていることを教えてください。</li> </ul>
タイプB (評価発問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較させる。</li> <li>・選択させる。</li> <li>・賛否を決めさせる。</li> <li>・評価させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人旅行とグループ旅行、それぞれの長所・短所は何ですか。</li> <li>・あなたはA社とB社のどちらで働きたいですか。</li> <li>・あなたは、どのプランを選びますか。</li> <li>・「〇〇は△△すべきである。」について、賛成ですか、反対ですか。</li> <li>・「永平寺でコスプレ写真大会」のプランは成功すると思いますか。</li> </ul>
タイプC (イノベーション プラン発問)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案させる。</li> <li>・想像させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県に外国人観光客を呼ぶためのプランをつくりましょう。</li> <li>・もし、あなたが新しい図書館の設計担当者だったら、どのような施設を併設させますか。</li> </ul>

## 新聞記事を利用した授業での発問(2017年度2年生)

番号	使用時期	記事タイトル	出典	記事概要	質問A	質問B	質問C
1	5月	Historical buildings attract new visitors for cosplay photo shoots	The Japan News May 10, 2017	岩手県の県立公会堂や南昌荘庭園にコスプレ写真を撮るために訪れる観光客がいる。レトロな雰囲気バックにしたコスプレ写真撮影が人気を呼んでいる。	①岩手県の県立公会堂、南昌荘庭園などを訪れる人々がやっていることは何か？ ②記事中の“the newfound popularity will help promote the history and appeal of these spots”とはどういう意味か？(選択肢あり)	①伝統・文化スポットをコスプレ愛好家たちが利用するのは誘客につながると思うか？	①福井県で「コスプレ写真イベント」を開催するとしたら、どこがよいか？
2	5月	More fun traveling alone	The Japan News May 10, 2017	大阪のニシカワさんは、夫との死別をきっかけに一人旅に出かけるようになった。一人旅にはグループ旅行では味わえない楽しみがある。	①多くの人が一人旅をする理由は何か？ ②ニシカワさんが一人旅を始めたきっかけは何か？ ③ニシカワさんは一人旅をどのように楽しんでいるか？	①一人旅の長所・短所は何か？ ②一人旅とグループ旅行(友人・家族等)のどちらが良いと思うか？	
3	6月	Students avoid overtime-heavy firms	The Japan News May 16, 2017	より多くの大学生が、自分が就職した後のライフスタイルを意識するようになった。企業は、労働時間や有給休暇等についての情報を公開し、優秀な人材を確保しようとしている。	①大学生が働き方を意識するようになったのはなぜか？ ②企業はどのようなデータを大学生に提示するようになったか？ ③そのデータを開示しないと、企業はどのように思われるか？ ④マイナビ社の調査から、大学生の傾向としてどのようなことが言えるか？	①あなたが就職したくないと思う企業はどれか？(選択肢あり)	①将来、どのような企業に就職したいと思うか？
4	7月	Libraries turn a new page	The Japan News June 7, 2017	図書館は従来、静かに読書・学習する場であったが、新しい図書館には「健康テラス」の併設など新しいアイデアが導入されている。	①公立図書館の慣例とは何か？ ②新設図書館にある独特な施設・設備の例を挙げよ。 ③図書館に新しい施設・設備を導入する理由は何か？		①もし新しい図書館の設計担当者になったら、どのような図書館を作りたいか？
5	9月	Studying the soul of Japan	The Japan News Sep. 26, 2017	京都府立大学をはじめいくつかの大学で、和食をカリキュラムに入れたり、食に関する学部・学科を創設する動きが出ている。	①京都府立大学は2019年に何をするか？ ②大学が食文化を学ぶ新学部を設立しようとするのはなぜか？	①どの大学のカリキュラムに最も興味があるか？ ②大学で、食文化やフード産業などに関わる授業をとりたいたか？	①大学の新しいコース開設の担当者になったら、何学部(学科)を作るか？

## 新聞記事を利用した授業での発問(2017年度2年生)

番号	使用時期	記事タイトル	出典	記事概要	質問A	質問B	質問C
6	10月	Working from home in style	The Japan News Sep. 27, 2017	Teleworking とは、インターネット等を利用して自宅にいながら仕事をする方法である。自宅の部屋を改装したり、仕事用の机をDIYで制作したりして、Teleworking を行う人がある。	①ジンタさんは自分のアパートをどのように改装したか？それはなぜか？ ②部屋の改装はジンタさんにとってどのようなメリットがあったか？ ③サカイさんは自宅で仕事をするのに何を作ったか？それはなぜか？ ④‘Teleworking’ とは何か？	①Teleworking は良いと思うか？ ②「Teleworking は仕事と私生活のバランスをとるのに役立つ」に賛成か反対か？	
7	11月	Robots help improve independence of elderly	The Japan News June 18, 2017	高齢者は移動、入浴などにおいて、介助を必要とする。コミュニケーションロボットを利用した、高齢者の自立支援が行われている。	①記事中の34%は何を意味するか？(選択肢あり) ②高齢者が援助を必要とする3つの領域は何か？ ③88才の女性はロボットにどのような介助を受けているか？ ④専門家の分析では、コミュニケーションロボットはどのような分野で有効と言えるか？	①「高齢者の自立を促すために、日本の高齢者施設でコミュニケーションロボットを使用するべきである」に賛成か反対か？	
8	11月	‘Eye in the sky’ aids rice farmers	The Japan News Oct. 16, 2017	北海道旭川の市川農場では無農薬米の栽培を行っており、小型ドローンと大型ドローンがそれぞれ目的に応じて活用されている。また、北海道遠別農業高校では、ドローンの操作方法を教えるカリキュラムを実施している。	①旭川市川農場で ・小型ドローンをどれくらいの頻度で飛ばしているか？ ・ドローンに取り付けたカメラで何を見るのか？ ・大型ドローンを飛ばす目的は？ ・2年前大型ドローンを飛ばすのを決定した理由は？ ②将来、ドローンの使用が広がると言える理由は？ ③北海道遠別農業高校のカリキュラムで独特なのは何か？	①稲作農家を助けるために、ドローンを利用すべきか否か？	①将来、稲作以外にどのような分野でドローンを活用できるか？
9	12月	Race helps polish up town legacy	The Japan News Nov. 20, 2017	愛媛県の宇和町小学校の木造旧校舎が移転され、宇和米博物館になっている。この建物の長い廊下を利用して、毎年、ぞうきんがけレース“Z-1グランプリ”が開催されている。	①今年のZ-1グランプリはいつどこで開かれたか？ ②レースの距離は？ ③はじめてレースが開かれたのはいつか？ ④今年のレースは何部門あるか？ ⑤(記事中の写真の)男性は誰か？	①宇和米博物館でぞうきんがけをやりたいか？ ②Z-1グランプリは良いと思うか？ ③記事のみだしはどういう意味か？	Z-1グランプリを福井で開催するとしたら、 ①どこでやるのがよいか？ ②優勝者への賞品は何がよいか？ ③その他、アイデアは？

# 成果と課題について



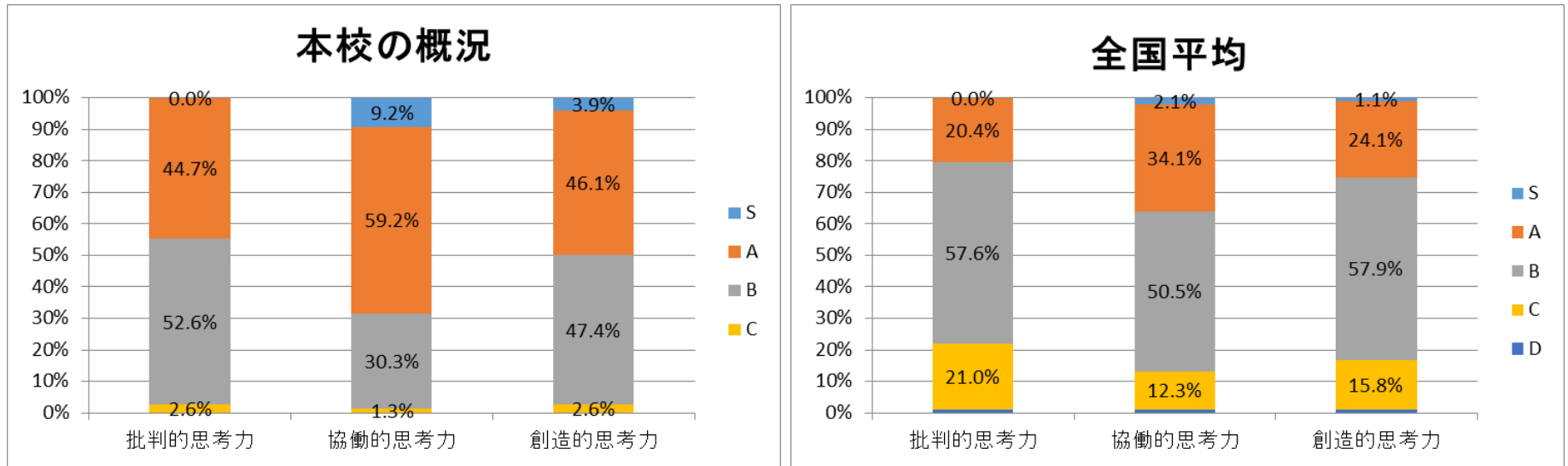


## 【成果を図る指標】

- 高志高生の意識実態調査(年2回)
- GPS－Academic(12月)
- 「グローバル探究」に関するアンケート(2月)
- GTEC for STUDENTS(7月・12月)

# 【GPS—Academicから】

平成28年度2年生の結果より



協働的思考・創造的思考で全国平均を大きく上回る

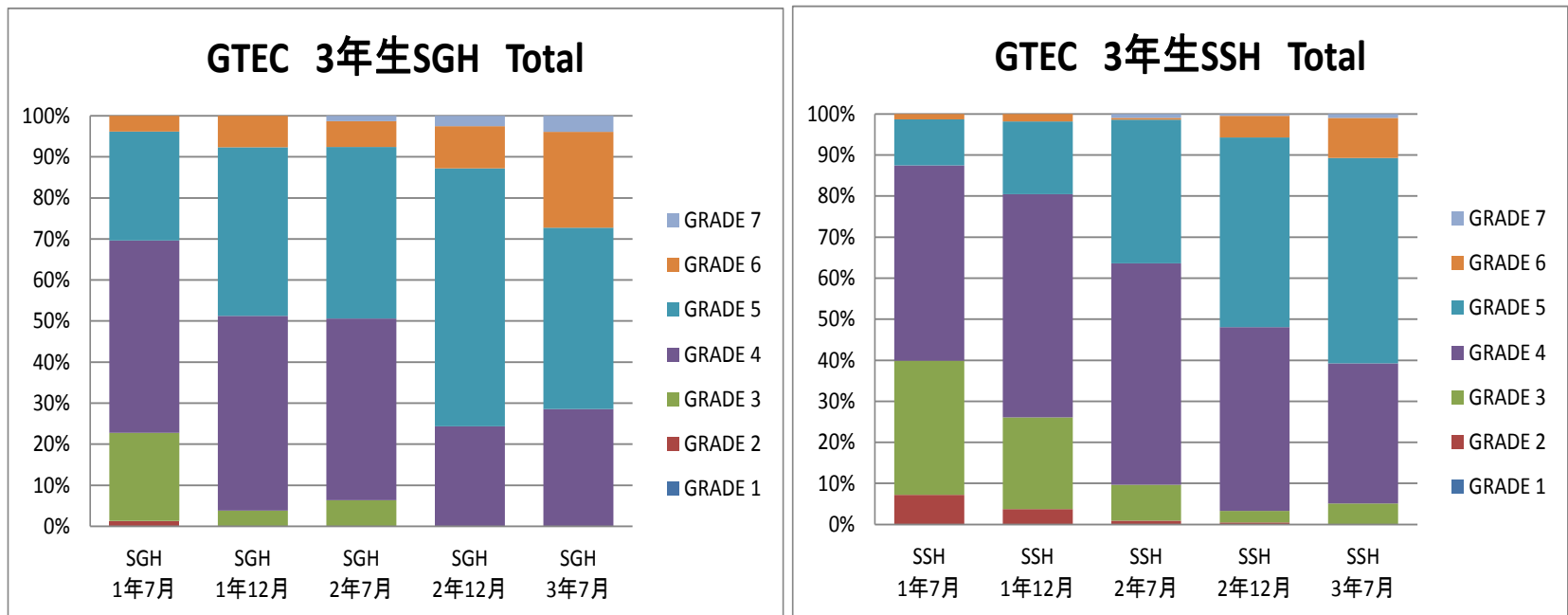


2年次のグループワークの成果



# 【GTECから】

## 平成29年度3年生の経年変化



3年次7月 (SGH対象生徒)

⇒ グレード6以上の生徒が約30%



## 【課題について】

- 生徒の積極性や質問力
- 通常授業時の生徒の意識変容の把握
- 英語コミュニケーション力の向上

ご清聴ありがとうございました

福井県立高志高等学校  
福井県立高志中学校